

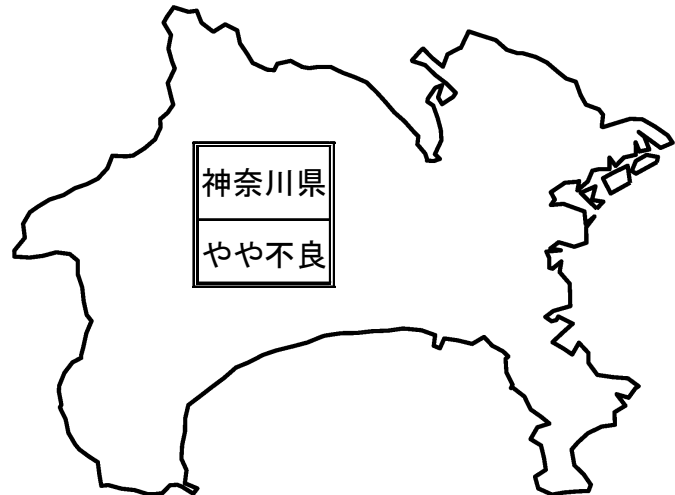
「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」 8月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【神奈川県 of 生育状況】

図 作柄表示地帯別の生育の良否
(8月15日現在)

神奈川県における令和元年産水稻の8月15日現在の生育は、7月上中旬の低温・日照不足により「やや不良」で推移している。



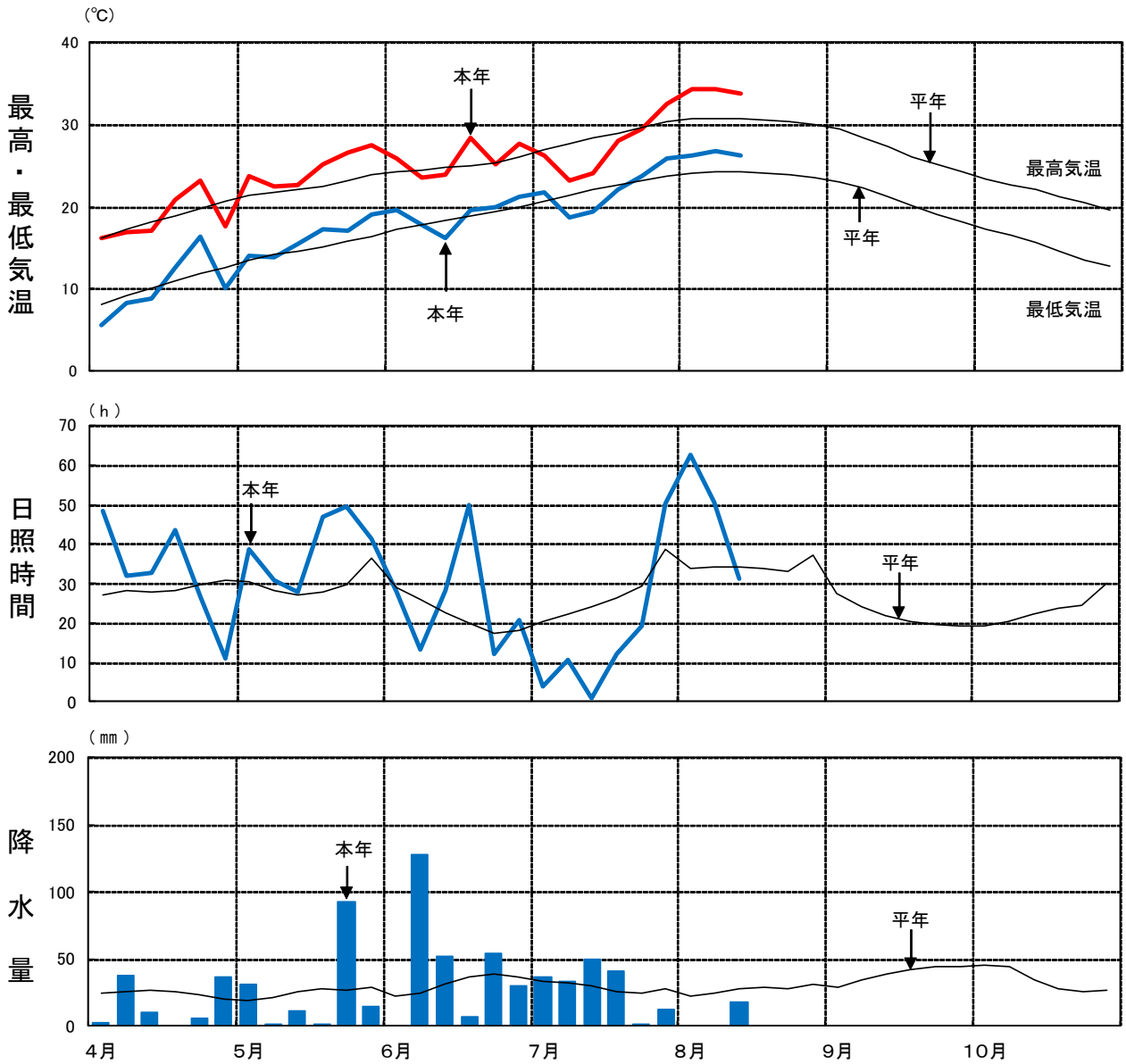
注：本図で用いた生育の良否は稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

- 1 田植最盛期は、平年に比べ1日早くなった。
- 2 出穂最盛期は、7月上中旬が低温・日照不足で推移したことから、平年に比べ2日遅くなった。
- 3 草丈は、7月上中旬が低温・日照不足により生育が停滞したものの、7月下旬以降、高温・多照で経過したことから「平年並み」となった。
- 4 茎数は、7月上中旬の低温・日照不足により、分けつが抑制され「少ない」となった。

○ この資料は、「令和元年産水稻の8月15日現在における作柄概況（関東農政局管内）」8月30日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料をご覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（横浜）



資料：気象庁

田植期
6/1(△1)

出穂期
8/13(+2)

注：田植期及び出穂期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 神奈川県拠点 統計チーム
 電話：045-211-7174
 F A X：045-212-4680